湖月抄

寺本すい

內閣文庫

[illegible]

細 巻名く紙をとりく長をとりて日野とうて細めしてろに[illegible]りて

盃 [illegible]

けくくれうくぐめくくとあるうしりまりまりひくいふ細巻

の中に四ケ所あり 細 [illegible]七寸の[illegible]りてげろふの巻

の始し日付くるり法毋のくせく聖日のまくくと年号

く次の年代[illegible]くぐのくふ野よりありくくしりまり

ひ[illegible]といいろり

[illegible]の比 細 [illegible]比とハそ時

代とさり伝教くく恵心

伝教よりくくくくりり河

海よみくくり 河恵心

院源信大和國葛城

郡人父[illegible]部正親母清

原氏道世後隠居横河

谷仮号横河僧都 [illegible]

書記 愚傳 [illegible]元亨天

書

[illegible]くくりくく 細 [illegible]信伝教の母長谷の

観音の利生[illegible]伝教

[illegible]くくりあるさ

れば初[illegible]よりくぐ

くくあるくく 愚案[illegible]

[illegible]くくり又元

亨天書ハ詰高尾寺

求子母夢一僧与一顆

玉乃姙[illegible]

くくりのくくりくくり

くくり人 [illegible]

梨[illegible]の[illegible]人の[illegible]

そのくくり横川よりのよりくくり伝教くくりひて

いくくくく

山こゆるのかいみゝ
孟三年義ゝ[illegible]れど母
の姉ひろれば出ずゝ[illegible]
[illegible]墨染河二八恵心僧
都妹の終焉ゝ付傷都
山義ゝ[illegible]れば糸よ
ゝ[illegible]ゝ高坂年
よ其金ゝて清義坊
とれに地義と金ゝて
横生せ一ひろゝ古事
後よあゝゝ
ゝけさゝし 花金峯
山精進よ八後夜ゝ於庭前
礼拝金峯山百度すと
ゝ一度ゝ[illegible]ゝ精ゝ
三代家ゝ[illegible]ゝけさ
ゝすゝし代ゝ人死
をれ八精をのけゝ
ゝ

よれいゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ
[illegible]

（細字注略）

（細字注略）

（細字注略）

[illegible]の人は 花の通乃中は狐憑通[illegible]
[illegible]に妖通狸通狐通などと差別あり狐
[illegible]の人は変化[illegible]
[illegible]妖通[illegible]
獸[illegible]有る
人[illegible]妖怪[illegible]
通[illegible]又[illegible]の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

用の一器のすがたうつくしく山法師のうつくしうてかなはぬ
いかるがの細工師の作 盂 威撹 山法師の作 三 威勢し
いかるがの細工師の作 盂 威撹 山法師の作 三 威勢し
ひとめぐをんとすれば
つぐりのうつくしきまれなるあやしき
こるべくしよあらじとそしてむと
やよ面いうつくしうめぐし 法師の詞 うてをいうぐ
たよよてうつくしうめぐし 三 垣の下く影の下のうし
まあしいかぶ 盂 俗形の詞 のうしうちたり
そのいろうえぬとうくをそんこしは
いうぐこうしうち池よりぐいを山よ
く廉とぐよ人うそくうれくうんと
うをうつよけざんいうれしる
べし人の命久しうまぐこ拙なれどのこ

人よをうれ 細 著門ふよ
域欲悪人遂ところ
ゑも撲死く業師法
よれつの撲死あり
人よくうこうれて
盂人よこばうれうん
く師人よをぐうこ
しせうれてうし

法師よちぬべくいうよき
三 自業自得果れ犯
るれづく
この大ここして
おおよ拙ちせぬと
いる人をうし

その命二一日をもかりぐうし
ぐ晃みも神ふとつふうぐうれ人よか
くれ人よくうぐうれてもうれこさ
海のうよをぐをぐさ拙よくあれ仏の
るうぐをくうひをくいうに仏くに
ちぐしゆをのませるしてぐをけふん
んつあるよちあぐくいいうぐうよあぐ
ものまてこのだこうていこうれをせ
ぬでしをうくしきわざうれいこう
うぐしひ法師人のけあうよこうぬ物を
をうれくげうしうるうぐ出こさんん
をすとぐうあうん人の手をの詞 拙 変化みもあれめ

[illegible]
細尾長[illegible]の事
[illegible]盃尾[illegible]
いはゝぐ宮法隆寺[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あやかりやすくする
しとやかなる人の
兄妹の尼のわしもを
めのうらやましうとも
うらやり
あくまでもやさしく
三 浮舟のあくがれ
ぬるこころんとも

河ぐめくこ 孟月を呪ひ人の人間に花
るぐらくとあ ぬけるぐらくつ 尾花行
人のうと あるかくやいとどうるすと思
夢ゆめを ひすくなり 活ぐかくな
ふこもや おせの海あくくそふくよう行
らあるを いさくく 細の活へらひ
くもなり 細の活
づられど 孟不用 師
やさしう この河よ 孟尼君の
よいぬれ 孟尼君の
あるつど やいうれぐくの活ぐいふ
てさう 浮舟 細も

人のふもどうさんとそぞ
そくくくくくの細やや 若題
ぬ 細色迷人化 若題
三 色迷人 鷹 花 三 若
狐塚 細 くくのとい 若花
の細くくく
二日ぐくくくくくて
孟 宮落 よくくて
くく二日ぐくくくや 若

故八条の山ぬもの
三 浮舟のるをくく
くり

つくぐぬぬ分よりそずるどやあくん
くそくれどこてくくくくあく一のるくくり
くくれいあさまくくるくく海くくく人
のふもどくさんとそ 細母の尾君
とうこぐふ二日ぐくくくくくて
の人を行 細宇治
さくくくそくそくくくのドをぐ
の修行 細
をくくくくくくくくくくくくくくて
つくぐくくくくくひぐくくくくくり
三 古大和 尼
活くくくくくくくくくくくくくくく

[illegible] 細 浦舟の
葬送し 孟 浦舟を送
し 東のことし せまふ
てあるる日れ東さ
をしそ乃ゆる日れ知し
暁
[illegible]の人の海舟と
三 人と八文の法ひを
めほ舟の[illegible]
とをいしし
[illegible]れ 細 車を
やりてけしれぐらせ
[illegible]
くを見くぐ
孟 葬送の夫はるる
きぬるぐ牛を焼あ
れいるや暁

てさけぐ作る。その作さそうれ雑るぐ
つるまるり作りとて。暁日いえ多り作
らざる志といふ。佐敬ん の人乃ち海舟ねと。
暮のしりりてしるしやしそふしもろ
ろくくあるりのをを作りえびあやうく
ゆそうしとぬがを。人ぐしやられ夫
いをるしぐくしさうし作をしぐる
とをいふ。ぐをの白
立ぐるしをひ色しい。大弱屋い文のれむ
をめりしるるしいををて。奉ぐよるり
ある物紙。れをいふようれ。浦舟のをい人をぬるるれて。細 女三文をを
[illegible]

わ東[illegible]
孟 尼云本儀中神を
あ[illegible] 三 佐敬の母

つぎのまハ 次の車
孟 いりしの尼の車に
浦舟をのせ[illegible]
[illegible]尼云のやる
佐敬女房しや
をのといふ不[illegible]
河 小野の内大東村
布 蓑とて物よあり

[illegible]
大尼し
あまぐ[illegible]
[illegible]
れば[illegible]
[illegible]
[illegible]

乗りけるく　細　庵なる
れどゝゝして遥なるのわ
ゐ一

り給ふる人りや　孟人の
弱きをてとりたてゝ
尼公のもと　お美濃殿の
序よりなり

中やどりをぞまくべりけるをぞいと
て乗りけてかりつるぬ信教おいおやとあ
つるひもすあのあ海ぶいこのもしぬんと
こんぐてこそこれぐこそかりつやもむ
いの病乃ひとものさぐりとあ
ーーとたのもぐりこそぐーもぐ
ひ給ひくれやうくしもかり給よ
くれぐ信教おいのがりうれいこ
ゝるぐ法ーのあるもあるこゝぬ
ゝるれぐざるーんまぐぐ尼
ぎとゝれるーらぐめをつりる
んりやあゝとゝもぐんすいぐゝ

いそぐゝるあ中ぐのもむ
ゐるりよ　お宇治のあ
つるゝるんいあるぐあ
ぎゝぐの人れ宇治ぬよ
るありてるぐゝひあ
ゝるを法毋るぐ持をゝ
ゝるゝ

河よるゝてゝるゝひ
孟法毋の宇治ゝその一
言く　お法毋のいぐざん
ぐゝをゝるあ

ぬ中ぐ人のもむあゝるよゝるんゆゝあぐ
ぎゝん拙ゝるぐるぐゝるゝるぐ人のこ
ゝるぐるぐひをんをゝく毋るぐや
ゝるの人乃ぐざるぐゝて、ゝをゝるゝやる
ぐぐゝるゝは孟法毋の宇治ゝその一ゝ河よるぐゝてゝるゝひ
一ゝゝりゝるよ物をゝるよの信ゝるぬば
いゝぐるぐつるくゝくいつーるんゆをる
ゝくゝんゝゝゝるよつぐぐゝゝてゆゝあ
ぐゝるくゝいゝゝあやゝゝのゝりの
ゝんぐつるよいくゝぐゝんゝやゝりひ
るぐぐゝるゝすゝんゝいゝゝりゝいゝゝぐ
細長谷ゝその尼公のもゝ
ぎぐゝりゝくゝぐめゝりいのゝを

くーやくこと　細護摩
く邪気よ八苓みを護
摩の煙よ焼く作護
広よ八苓穀苓みを
焼く邪気にうぐ
ち　五

しあぐうも　細
伊勢とと
ていこまでとい伝仮本
をいしく　孟尼公の伝記
を我伝と　山岳ていを乃
うくいあうくも　弟人出
ちくんこそあくめ　仮
なまでいい伝うくーう
うぐうくく　元
くまてもあうくうくいの
のちやくてくうまてくまく

しあぐうも　細
をくせのふ　井くくありふ伝どよ　細
ふくしくを月さ月く
み月をくぬいくまびーうひすくこと
をくうびて　伝教の伝教　ふくくの尼の伝教
へいひやくう　細
てこのくくけまくさすぐくみまで
をあくハちぬまぐうのきくくとつくこ
つくやくぐーくくりのくくぬよくてああ
れあぐ伝くけ京よいで結ぐーくていあ
くあくまでくあくんくるぐ　しくぐれ
くくとくくぐけくぐれまくれいいてあ
ーくくくくれてくまでをあくくくく
の命をやぐくうくくまくーうぐくぐ

白をくくくーおく
あ白をくくくくくくセ
くくくくくく文法く
ぐくつくくにくくくくん　尼公の
伝命葉書　経文　孟僧
の泊くくつくくくくを
そ恨よ及ひぐ出ぐ
いのくんくく
ひくくくくくくをあぐく
おおおひくくく不浄なる
命のをくく

いくくくくくくくくくくの
出くくめいくる所　遠迹八苓

くくぐくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細行者のわざを行ずるよ
八年目の後徒のもとに
仏門の弟子となりて行ず
ずり 曉

青鬼のこと

細 緒青鬼のことは
是に或記云昔深草の
后内侍この付金峯山
より久修練行の行者ま
りて加持しなり平癒
の後年山より帰りて年来
の行業を廻向して誓言
鬼とうれり緒青鬼と
いふ帝に后を奪ひ

奪ひ
ようぞ
まつぶあり月よ人よりて
行やうの物くんとまどいて
ぞとあらん海ぢりいをを月しうて
貴なのあざりとりぐよりぐし給月ごろ
いいくもあいれぎりつるのけてく
ぞれくどのれいうてまでまうでうく
調 うてうぎぐれそまうべき多まるものう
ぞ者いをこうひを法しのいくうるう
世ようくくぐめくぐよひあうこと
しぬぐよくさ女のあまさすこ給しあるよ
をくつくうてうくへいうるひてよこのへ
いうるせどうくくまておれいでまるん

調

師うきの絵

調伏

細ようまに

調伏

宇治のうくうくの天をうて

大者るを

治部卿

細

つくくうへ人のつうくき
細 治部卿のしうきさを
盃しうきうのようて
物をいうべくく
うくしくこのうくうは
細 治部卿 盃 治部卿の幸
性よ如てえまうせど一
人もえてまくうへ人も
おくればうくぬまよき
くうくとふく

つくくうへ人のつうくき
細 治部卿のしうきさを
盃しうきうのようて
物をいうべくく
うくしくこのうくうは
細 治部卿 盃 治部卿の幸
性よ如てえまうせど一
人もえてまくうへ人も
おくればうくぬまよき
くうくとふく

青鬼の記事は大鏡
とうへ

細 緒青鬼の記事は大鏡
盃 治部卿の幸性
人もえてまくうへ人も
おくればうくぬまよき
くうくとふく

青鬼は緒青鬼の記事は大鏡
盃 治部卿の幸性
人もえてまくうへ人も
おくればうくぬまよき
くうくとふく

細 緒青鬼の記事は大鏡
盃 治部卿の幸性
人もえてまくうへ人も
おくればうくぬまよき
くうくとふく

つくくうへ人のつうくき
細 治部卿のしうきさを
盃しうきうのようて
物をいうべくく
うくしくこのうくうは
細 治部卿 盃 治部卿の幸
性よ如てえまうせど一
人もえてまくうへ人も
おくればうくぬまよき
くうくとふく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くや姫を尼うづけうり
給へ行とりのゆきゝ
細 くや姫の物語の
こゝ万葉の行えいかう
りうり孟行えいかう
や姫をえうりうきく
家の内ゝりこ八月十
五夜天よりのりしう
ありそをどくうせて、
と尼天のうろく

うれどもつくろくもあべいくうづう
しそとそてるの結おまりこふをうること
きてこれいえとそずくくや姫をこつけさ
つくん行ゝうの母さみゝりもづくしに
ゝちもろいうろりのものまうさいを
んとをくんとをびゝうるくでえてけうこ
孟 中納言尼公歩給
細後
姫の母
のあてをあてたうゝりうりむをめけあ
の後家を
まえいと上逢アのゆの方ゝてゝうゝがそのの
お妹の尼の夫
ゝなくなりまてのうむをあくびゝくり
をつくづくうしづくて
所尼天の夫中納言
ゝうをむこふ
しくゝあつうひうゝとそのむをあの者代な
くゝりまくれいくゝうくいくづくゝいうゝ

世とくゝに西ゝうゝ人のう
三ひをめのう飛尼よ
修弁さうるとゝ

西尼天の
くゝをとゝ人くゝう山里ゝ世ゝをくゝ
ゝうゝうゝ世ゝをくゝよ西ゝうゝ人のう
ゝゝみもゝひゝゝ使くゝん人ゝをくゝよ
ゝゝゝれゝくづれくゝんゝゝゝくゝ
ゝゝゝゝゝゝゝくゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

ひく引かつらを　引板
麻を巻きを独　夕雲雀
みも山田のひこもを
ろくもとあり
夕夕雲の　細　茅巻
玉葉の地形をつくる
られくるふるて白を
ゆくるるべし　高山
五紙白ろくし　海苔の
ふをふ白りハてを
山よりくけくる家
細　ひくこ引きをの白に
くれり　盃白て海
苔のふるるべし　ふるか
りハ白くれてとる菊
よつぐくべし　海白を
のくを　山くこけてを
む角のをを角みくり

山郭の行
うり　秋よりゆけば　のくを
表かくを門田のいるとて　面よりけくる
ものをるべしつくりを　女だハ行くこひ
奥く　細　海苔あくを
けりじあつりひくこ引きをを
くをし　考法　そのを
られくる　細　白　夕雲の　高楽の美八山里
くりハ今をこいりて　山よりくけくる
家るれば　行けけ　海のををもいくん
ぼそくを　海苔のを白りハ
いつをくをやくくり　尾　細　赤の尾よりくる冬
わくを　琴　細　赤の尾
どくを人ハ　琵　のをるをくをくあをぐく　細　尾

天の海苔　細　海苔
ゆわくを　海苔
細　海苔
むくを　海苔
よくをくのくをを
くをくをくをすをよくをくのを
やくをくりくをつけていをいづる　細　赤
をくくりのをくりくをくる　三　海苔の
かくをれいをるくをひよ　細　海苔
海苔
をるをげ　海の河乃をやを風を
ぐくを　海苔
くをくをれくをぐ　海苔
くをくれば　海苔
くをくをまでやりひやくを月のわくを

くををを海苔の
海苔の海苔
海苔
海苔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

盃友生の紙もくくりたるこの作りよ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟中将の名をひきたこれをよませしに

ふるゆきはこしをとるまれがく　三尾長のくに

ひとめをとるまれがくまで

ぢぐしぬ人どもをそまろて　三位母の尼れえ

中くらひひの　中

ちくはりひひの名

人物をとはくくりよえ

人物をとはくくりよえ

こよすくをとりまてうしとぢよまぢこ

れぐしくくをはめうとしてろひしのよ

そくくうをはめうとしてろひしのよ　細おれの尼　孟ひとあの所えよ人をめて

ものあらしぬぢよはぢしぬひくを

しはあうをとうしらけるかをはをいう　海赤の

ぐくくんぢつんとつふうくくくくくを

をくれとかうくくてるよぢんるしげよ

いくかしうつてほのるうつる紙中く

ないづうあるよんどそのまくみるいづを

をのづくくうくめうちんとのくつどくち

つのよくひちのんよさ海わうさうくく

うにしかるくん　細まぢ

ちううあるよはるわや

しくくくくくくくくと

はるうるくくん世都ぬ人

の物つひさぢみくこ世に

孟こうるもとくくを

てるうり

人の物つひ　細人くのく

るけうり　中　世の人く

中ねの人乃物つひを保

はをりめうるうよ

うるう中物之　哦　中ねのう

ふいーあし海よひ

ぢぐうの長はるう

うくはくもるくくぢ

細ぢ孟の長くくく

別人ちくうはれそ

うく

三　中ねの物の人物の時を言めぢくくくくくくくく

いよいよ秋さえてさるかのうと
今はお世の言葉なく
ひたのりよりあつまると
前をすてとく

[illegible]

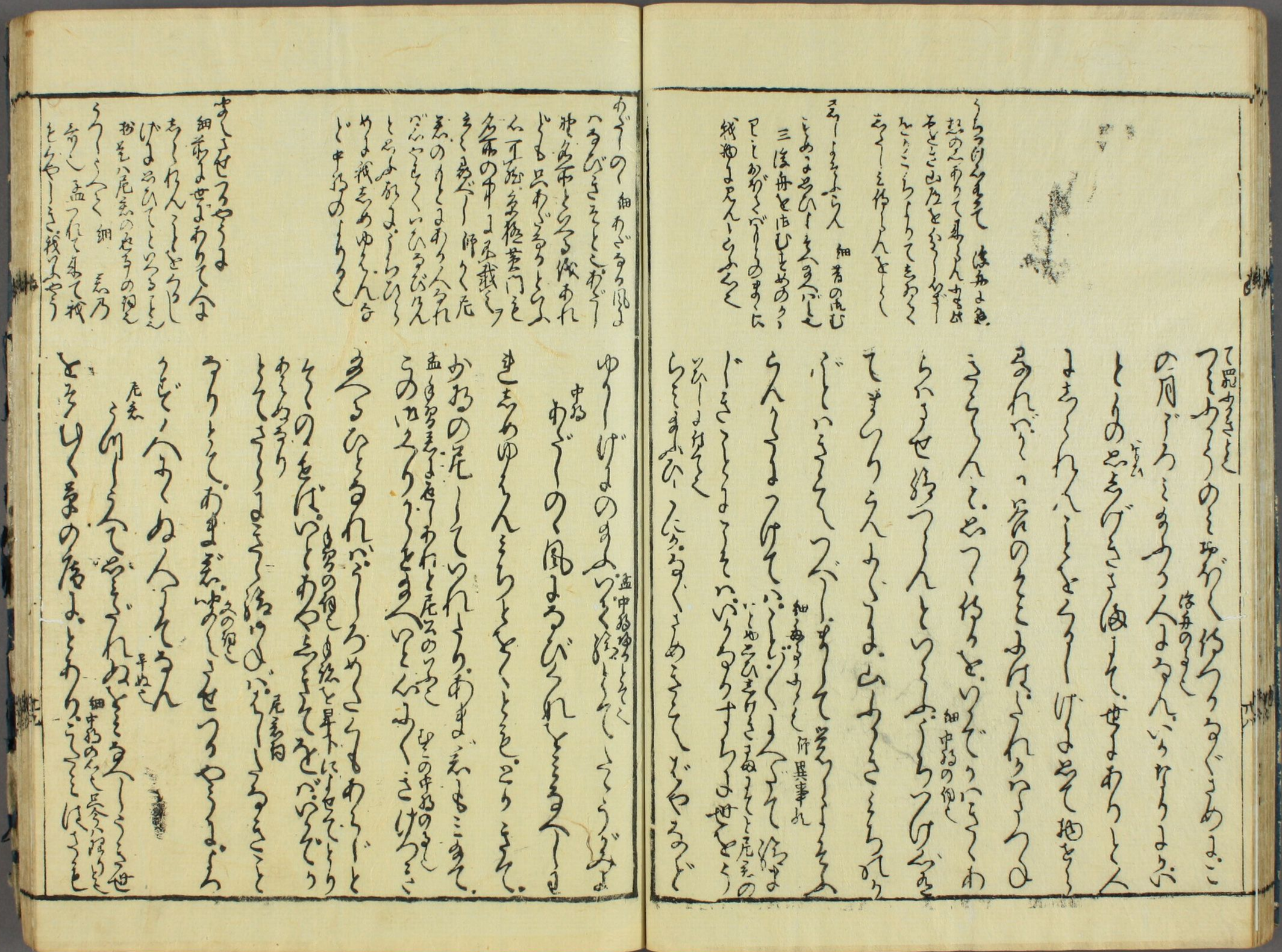
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

三 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

よくてありてそれ
世ぞこめくるさうり
元世ごもれりしを和
おなじわきんどをふたり
おりのまとしきんし
見ぐりてそ
三尾丞の妻の母を
てるし

秋と思へる 細 菜のり
奇とこけてくるうまれ
を繋ぎ給しの給ひ
とそうり物てそうりく
ありこ盃をい尾丞のま
つうの山のしまんえを
ありしひ一組をとりて

作り時のいてしのくだそくゆだし作り相
を世紙こめくるさうりているよいぐ
しるんしをんに作りとおやどりてうりて
丞の妻の母
ものこんりてはいてくるみくもゆく
へられすをみひそぐろるこしを長し
ありそしまのつめれこしるれるどうらん
てそどんよりめこそめらんりまもしば
細 母の
ぶよどこもいみうひうくのこそしいとつ
のりてさ
れるてみてまうを海らこしどうあ
みんうい秋をちぐれるぐうそ給るよこて
ありうるれるどうこうて
中略
秋むしの命をとりてうれどとみか

中略 うつ和し
秋むしの 細 伝ては尾丞よりて殺生をまこうくしもてくうれた殺生
のりうそ人てつまるれあよりその命よりしく 盃 松虫くを尾丞ようこうこ
るうし尾の口引しまれこそいてそ中略の命しおくまつう歩くうしうしく殺生
ハうくさくしも智のうび
るをとりて
あるひとわ 中略をとて
るくうくも智のれるれ
こうり

あり丞こうい
細 るき内ハうし 盃 尾丞の
るき内ハうくしくさ人の
るを殺こそるうよいこて
こうり
秋の虫の 細 虫人の寿
みくくこそあるからあ
ゆ石の寿けさ中てハ
あるびくうくこそこそ
盃 尾丞の命しく殺生

人しいひいぞんまいとんくくきこひそ
めてんやくくのやりくくよりあれんこ
ひつくうゆゆれどいくんどよ給
るびあるもういるくこのあつりあまこ
るるくいいまめこうん人まぞあしけるる
尾丞
秋の虫くつ西うけこうこうこうこと
るりなるぐ
ひぐくきけわる常ようつぐとるんうどり

の秀ゐ中ちひねとあ
れてく師 春ちろ
者ハ昇下の句と者の
者の奇よ尼者のとと
ゆ ちろし次の句まく
ちろとと者ちまと
と と
ちげらちげちふと
あむげちの者のとげとれ
げちんと知ちげちと
ちらみも知ちく ちげちハ
しげちとて、ちふと尼
者のひひちしちちよちけて
四ちも句智者ちし人ち
ちくちと知ちくちと
ちとおげちとと
ちと者ちもあちげ 三句
智者の句市と者ちで中句
ちも伝ちちみどちれちの
ち者ちちちぐちよちけと
ちちちぐちひのちげちもみ伝
ちのちとちち尼ち似合
ち て今ちくちと紙句と

ちちげちちく知ちちと
ちちちちちと者ちちみも
知ちちちちちちちれん
ちちちちちと者ちちちと
ちちちちちちちちちと
ちちちちちちちちちと
ちちちちちち

[illegible]

三 尾花の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（細）大尾の琴

（大尾の和琴）

（細）

（中ゐの）

（大尾）

（大尾の和琴）

（孟）

（孟）

（大尾）

（孟）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月よりうく　孟山を
めの人よりはの方の
ゐ人きみてそこれを
よ元之のクラドにま
いりまして
くわゐぬ人とも見て
おけはの習ふとうがひまの
のやうよ之て他人とは
ゐられぬやうに
ゐうドしうらてまうて
ニ賽カニリ一ウ之部ゐる
しのやうに之必部とくる

ゐうく濃尾のくはの方のゐうをうくゐうがよつけく世界とうひを
てんだ・ワくうさんとてかりーやうちうくを
ゐうよるく・ひとびれうわどるあうと
ゐ・あうくうのうちいきくけうくゐうよ
けのゐどゐうておけうれの元稲まさ
つ・ちうーおうちひ絡ひういゐどうくし
めてくゐきりのようう・九月はりてこの
あはよ・ゐんうけをようゐけ・年ごついてくん
りもうさくよ・ゐうさんのうんとうやまれざ
つーと・うくはうぬうまうもと
ぐうあとをえうれい部ゐのいちうれ
ゐううドゐうてまうで絡ゐうう

孟山の方ゐうまれと尾張の後引く
いどさのんどんやいちうくんとチうが絡ゐれれ
ゐうくうの家よをとるひうゐうんゐうーゐ
てゐれうあーゐかうとうどのくうられ
わうゐうまのうて
と・芳つくゐ・ゐのうるどどゐうよいひうう
ゐうう・ひくまうてうゐーをうひるうこに
ううあうれ・令さんゐうようるうひどゐ・うどひ
ゐうきいうどうきゐうをうろうていとふうき
うちゐゐもううぬんよどうてううちうの
ありうこうをうてうんうしうそうゐをうと笑
ゐ・んどうこうゐうの部ゐの方ゐうゐ利ゐううゐうゐいうね
ゐ・んどうこうゐうゐうはいひのゐううてうう
のいとあうのうこ作れどゐうゐうんうう
の紹ゐもいうどるどうつうゐうんうこの紹

ゐうくまうてうゐーを
孟山の部ゐをとゐ
ううようゐうもゐうし或紹
の德・と部ゐうをみうくゐう
うゐもゐうどうくゐ曉
令さんうよ叫ひを
細ゐんうゐんとゐーゐん
ようるゐどうくゐ部ゐよ
ハ部ゐの利益とゐうこを
ひうゐ之流派の部ゐ及乃
撰ゐもあうくゐれうゐうど
ゐうゐんうどうく
孟山をゐうゐ人よ見ゐ
してゐうこ紹ゐいゐう
ぬんゐうどうゐれてまう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の江はよ五月を長雨のさつ
きくもりへ
ねりひいつるこゝろかくて
唄 こゝろのくのくこゝろ
ゆふしこゝろ山を表し音
ふりい 細 仏ゆもゝ別
ぞうるれどもとゝ
唄早下のゝ狀の名を
とゝひわぬゝるれど
りくゝりり
ひゝゝりつる中務
おけゝゝまゝよゝゝゝ

ゝゝのゝゝよ
細 拍ゝゝゝゝゝゝ
よゝれゝゝずゝいゝゝ
ゝゝ
おゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

仏れゝゝゝゝゝれの風ゝゝゝゝゝゝゝゝ
よゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
海 ゝゝゝゝゝ狀の名をゝゝゝゝゝゝゝゝ
よゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひらの橋あやうしと師仮
細本編今はとて師仮
ふて兵分をなんと
ず人の約束よ一橋
の老をんく左ゑ門
ゑ　ひとりこれをんけ
つて可用こ　発明
三代実伝の書よ
ゑ　ハ今　兵法
ゑ　ゑ　ゑ
でよ　ゑ
し人の不をこ命あり
ゑ又老尾ゑや
ゑ人ゑ

しさいびゑつ　まんあも　大尾の年数よりゑ　けもげひゑ　ゑあ
まだあゑ　ゑりあ　ゑ　血ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑせゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひとうち海うりめい
三 蓋よりもくれんすれば雖
ゑんくも細しとも板よりも
ふそてゑをつくしに時をすせ
ぬいこしぐりく
枝をろのんや 三 ほのの
ぬとまがんを新すうえ
うしうじて名れすくを
うして 細 引寄よ及べ
うしどを名の者とすそ
母をのひ知をうを知者
仏法をもうをぞ長
秋の雲はもうをべし
しも花山者のりうく
しなくこをこうけうら
うをぞをの母うどをも
ふ 行基寄 三 細びを
引うがをを花をも秋の
あくるぐうれをを父母に
ゑんをうをこれいんのつを
の父母 うをはうを奇妙を
うをしうををこもうをぞ人を
ふをうををはは 物小形人かをを
ふくををうり

の人は家門をも一人はあり
くべりうぐ
けをくしをを法師ぐうを
とあををうて侍ぬをを
ををを 物小形人かをを
ふくををうり

をを日殿の四位が將
イをををの中ぐの四位が
稽 三 夕秀の島く

師 しをををを
三 世骨をぶをををを
光人
ひをををを
なををを
細 宝をを人の後は四
よ後の内今上女二宮
一品宮のれりをくけををやま
をふをを
をを結をを山の麓をれぬを法ををまをを
ををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを
殿の四位の
三位の人中まを
細 侍ぬの四月くをを
細 島をの志のを
ををををををををををををををををを

いむことうけ給はん
三位ゐうこも成さう
くくさく

れいのことよかつて
うちもの者えのかつて
まもる方く今まぐへ
大尼えのうちよかつて
く

ゐやよいまー
らの　三　うつて
毋よつくをぐやくもの
のくく

細尼天長者ゐ（の者ゐうれこ）師　公家を
ありよこ
ゐうこ
細　日ゐ天公元天ゐ
うのこ　給ゐ
いむことうけ給はんとうけ給はんこうけ給ゐ
よゐのくくくくくひえくじかけくく
うちうれでれいのこよかつてこ
いわまえ乃こ乃ゐ給ゐこくひくくよ
きこうんもうこゆゐよゐまづく
つこえをあこゐればこもうくこ
くぐくてゐやよいまーくびくゐのく
こ海とうこゐるうんこゐうんくゐ
ぞいくれいくれいうこうくひく

細大尼天祇師天ゐ

うれこうこを　細八こうち
れいくれこうこをうた
公のわゐ天祇をゐうぐを
やあり久ん　馬桜後撰公
方の細方こゐむぐゐうこ
くちゐうー給ゐくこゐり
上給ま新よいまー度ゐ
うゐぐくのこ海をこん
えこをなりゐんこうこゐ
こゐるゐくりくくふ
なり公方こ新日ゐ

けやくくもすくー地ち給こうにくゐち
もれどるよぐくもゐくくゐ
くて六ゐ人ぐくりなるすゐるぐこいくこう
ゐうくうきこうすぐるまぐをひくこう海こう
ゐうくばゐるりゐれこくもひくゐち
ゐまくりくれくこゐくげゐりまくり南
ゐりくくこくひくひて加なくうくゐう
こぐくもゐちぐひこうぐこゐもゐ迎ゐこゐよゐ
ゐくくゐいくこ地こくくこゐ海の方こ
まくゐくゐこくこくこくこくこ毋のれくこよ
ゐこくこくこくこくこくこくこ
ゐこくこくこくこくこくこくこ
ゐこくこくこくこくこくこくこ

法しいとなみとしてて
孟法師などいふ女
のこゝろの人のなどいとゝ
なん。ゝゝし金言
世をそむきたる人のはゝ
つゝ　御尼姿堂の中より
をゝろ

ゝもりてなん。こゝらあるとこそものしまし。
いじゝしけゝしてまろんとの給つゝゝ
細　孟傍新の男のゝ
ゝゝ孟傍新の男のゝ
しますゝゝて。本性のりしよつゝ
男ゝ
ゝれど。わゝりうりてゝ
細　孟傍新乃
知し孟不意
ゝもりてしも。ゝゝびしの
ありりよしゝとゝまて。おいのりなどわん
ごろつゝまりしを法しいそのゝ
なてゝふゝゝゝゝの給ゝんとびんな
ゝれどものんよるんとゝゝゝやゝにゝ
給ゝゝゝしゝゝ海よ世をそひゝ
ゝる人のゝゝゝりよゝでかつゝ

ゝゝ世をそむきたる人のはゝ
孟法師ゝ。孟よ世をそむきたる人のゝ
傍新のゝゝゝ
ゝゝゝ
ゝゝ
孟法師よ世をよせとゝ
ゝれん尼まゝ
ゝゝ
れいの人よてゝゝゝゝ
給ゝぬ　御女のゝゝゝ
ゝゝゝゝ
いゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ　ゝゝ
よいゝゝ一向ゝゝゝに
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ男ゝのゝ
ゝゝていゝゝゝゝ

ゝゝ人ゝの給世中よ給ゝゝゝ
細　ゝゝゝゝ義男ゝゝゝゝゝゝゝ
のゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ給ゝゝゝゝゝゝゝ
給ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

お家の事とけねんく
つくく罷りて
おりひもちてゐをおこし給
ふれどハ　三　ゆきさきを見
るきゝの接機のゐあ
ばりてつこゝろ見し
ゆきさく作ーゝり
三　宮本者ゝや母の宮
を見ゝやるきゝ事をい
いゝゝあり

るゝるゝゝさゆどのゝゝ
ちく　おゝ宮殿の御ゝを
くるくゝゆどゝゝゝゝ
るをいそゝゝて　盂ゝを
ゝゝく　ゆゝれハお家ー
ゝゝゝゝ　師仏ゝゝ
ゝゝく公家せゝゝゝ
ゝゝ
和の家をゝゝゝ
細ゝゝゝ師ゝゝゝゝ
師ゝゝゝゝゝゝゝ

ど　盂　年月　年月をれハ不思議ゝ　細　ゝゝ
ゝゝくゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けよみでしたのひしもろ
人ハ　三　信敬ニテハ法
弱ものじと申子どもの
ひしごとくなる事あ
よトモ法師の礼信敬
いとせもろでハもろ一色
ろそきのようこうひこうび
ゆ信しるとひしるも
ろうこ
名聞も申ろうしそれを法
のべさせよ　信敬の法弱ハ
われど礼は和のけ礼名聞
やうんとそれ信法と
のべさせもろ
四ろいくさもろくひこう
しろくんハ　盂一正夫の
法弱ニ弱敬ニ一人の
法弱ニそれハやもひし

ろれこそまろつろ敬と
ろ礼ろざ　盂和本ニ見ニ
れとあろこうろつ
ろろろ二和夫のろるやこげよ指でしろ
ひしもろ　信敬の法中ニ弱ニあろ
て夫ろこせ信ニよればつあくいこさ
ろこきのようひのろるでろもろろ
ろ信ニるとひこうび
しそ法のべさせ人いとみもえ
ろつでこうこひ信ニ面みでろ
て夫ろやろ敬ニうて信敬の信ニて弱ニを
二同ニよろ信ニ四でろいくこ
ろ信ニいくこうひこうじころ人
いこれやもこるでて法市ニ人どくを
みくらくおころろ人もくるこかろ

いよくのろ礼世ニろくこ
そこ　信敬の弱世乃
礼念のこよくこに事
もこあもこ弱ろ
ろあくし

細中夫と一夫の弱ろこ
弱ろの法中ニ法楽ニかりまして　細中夫の弱同
法中みもこのこびるんいよく法の世もろ
くこそこ　細信敬の弱
の法ろを世中ニ久ろく信ろ
備ろどこもこ
ここらいわんろこ
れば法ろけこまこれるく金ろつこめ信ろ
んこそふくころり信ろころ信ここ
ろこけのろ信みこるどけこ
ろこ敬
けのろこわこ海くこるれろが地そ
ろここ　細希有信ろれろ夫信の弱
くけこのこ
ろこ信敬
いこ
うこ
ひのこ

盂岩を作せろて退ニこ
中夫の弱ろ
ろこるどの法つこくこいこあや
ろんこ
やこ
ひ三月ろ

手発て行う母の袂をとりて
行ゆくへさの中やどりよ宇治の橋とひ
行う所よまうらやどりとくのごとひ
ともゆでうつあるたるあ所ばうしぬ
地うるうしひうひをして どりさ病着のさ
ぬすしさことどりやとうるうしもうく
とそのうつけうしうしとばとうしゆく
中文内
後げよいとめづうるうこれそちくさ
ふうぬんぐうこれいうとはそうくた
がうれて地ごろうさせ後ろはのうさらひ後
悪らうけてねさめ
宰相のうさうしとこのしとうとうとうろ
中文のお
こうせまれくいうくねううそうこうとと
うせ後んぐうこなよとうさうむそうづ

地ばうさせ必ずうるれううとどうろうとなうさ
おげ文のれ乱文という
ぐく後教の必ずて多も
ゆうさめうし

とううせ必ずうるれううとどうろうとなうさ
ことけいうてううとうひてうくうくもそ
蓋ふよん 蓋浮
をうて後教の知
びうう出後うううふ必ずそぬんこの
ふあまどうとあひ吊ひ後んうそうろ
ろうううよなくく出家のうろうば
ふううさうわんぐうろうよううひ後うば
仲小姓尾のま祖
しう地んうう後うみうるうようぐういりうと
仲小姓尾の宮尾
友清つのうこのめよ後うん尾るんうをみ
中初のもの宮尾
女ごのうろうみとうろうび後うりて必の
がんようこうりうづうう後うるうとくなうよ
うれうううこう後うるうげうそうろいと

うせみ女ごのうりうと
ぬいうろうん 宮浮中く
後浮をひろひうくうろこ
びううかうり
くなううようれううこう
後うかうり 仲文習元
の尾よ蛇し後後教いい
すぐ小姓の尾うハ射面

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

て、ゐる玉ぬ[illegible]
松門よ曉ゆうりて　細　陵園妾の陵をまりてくあるよびもの花の[illegible]
[illegible]　孟　松門曉到月徘徊　指城盡日風蕭瑟
陵園妾と文女なるべし　陵園の妾とうりてつくしんと
[illegible]の中殺よ位[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の文女を[illegible]
[illegible]

と法師[illegible]れどいとうしく[illegible]　細　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぞてうくまのうろうよ
ものの（のみさしもそこて
こそいかくこそ（も考ろ迄
じとめすみんぐうそく
おり日ものの五きに尼公の
まの姫うんと姫くみ之
まりやうのうさ海よりり
こそれも　中ねの又今
一つ々こそとてこそて
とうるようそんうち尼
公の御
このわま恋しうるれぬ
んうるんしし
盃氏姫恋も尼公とよ
そうぬんとそこそう
とく中ねのわやしく
うう

細尼公の句　盃日

盃中ねのふこ

戒尼ねよ

おり中将の今下のうく

細中ねの句

そこのうのおりうるき
よそくうん（さうよい
盃それよいでうるども
ものうんがわうくむうう

てこそうどの
しうやうこそ
うやうさ海よ
んいこうれ
ちうざうん
こるさ海よ
るべしうれ
のはうこう
りしげるさ
いざうれう
人いまうと
こうのおがつ

細尼公の句　盃日

盃中ねのふこ

落ちよりやうどいうさうこそ

おり中将の今下のうく

細中ねの句

ううんとこ
おり大うこの
ひびうこそ
ものれば恋の人おうこそ
うれば恋の人おうこそ
ぬるうれば恋
人よ恋こうざさ海こそ世
よへうう　おりこのる
の世れ形こそおうせば恋の
人もおうべしく出家
恋人へいさうもわ尼
ようこうしうぬうと
うよう

細中ねの句　おり中将の今下のうく

細尼公の句　盃日

細後世のうのこをうこうま海

盃のふこ

細恋ねう

細恋ねう

細恋ねう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つぐりて　人をまくねこ
くとつ

ひさうの女の古し　細　紀伊
の伝説母の母とあり
かぐ見い商附の説話
るるアし　仲紀ちがいを
うとろ　ま智天のま
まあのまりいめくを

えまちつけ　細　大尾丈こ
ちのか光光あること
盃　年ちくれくれば
尾丈い考説のか方を
つけくこと

ひつくのくを作ようぶ
らひてるし　お国ちの
ぶりてい日ひくあれど大
つけくのちぐくて考へま

よくに月とる　仲ちよ母やくちち拙し　結
いぐ接ひ一不とくくれいくちちよちくて
作つれ考説のみのくいとくづれやみえ結
ちやくちくくへてけづ　細　尾丈の説　書伝も
てるん　ひくちいいくくちくをづれやみえ
結いぐめうえまちつけ結まくくさ酒ち
うん　くくまちのまよ　細　ちのくて　盃　考説ちくて説
結文のくくくちちひまく
ぐりて四ぐちよちち作わるよ地ほやけぐこの
いくちぐむつくくのく作ようづくひ
てうん　嘘日をくうんくちちるまくくを

仲説のくくを
ちまれぐ　字結よ地くをくくくて
くくくくくて　毎八文のをく結くくくるよ
くくくくくて　日言くくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

其以後梵天帝釈四天王忠仁公日光月光菩薩宇治南白十二神將御堂南白
被造制之
[illegible]
[illegible]
[illegible]